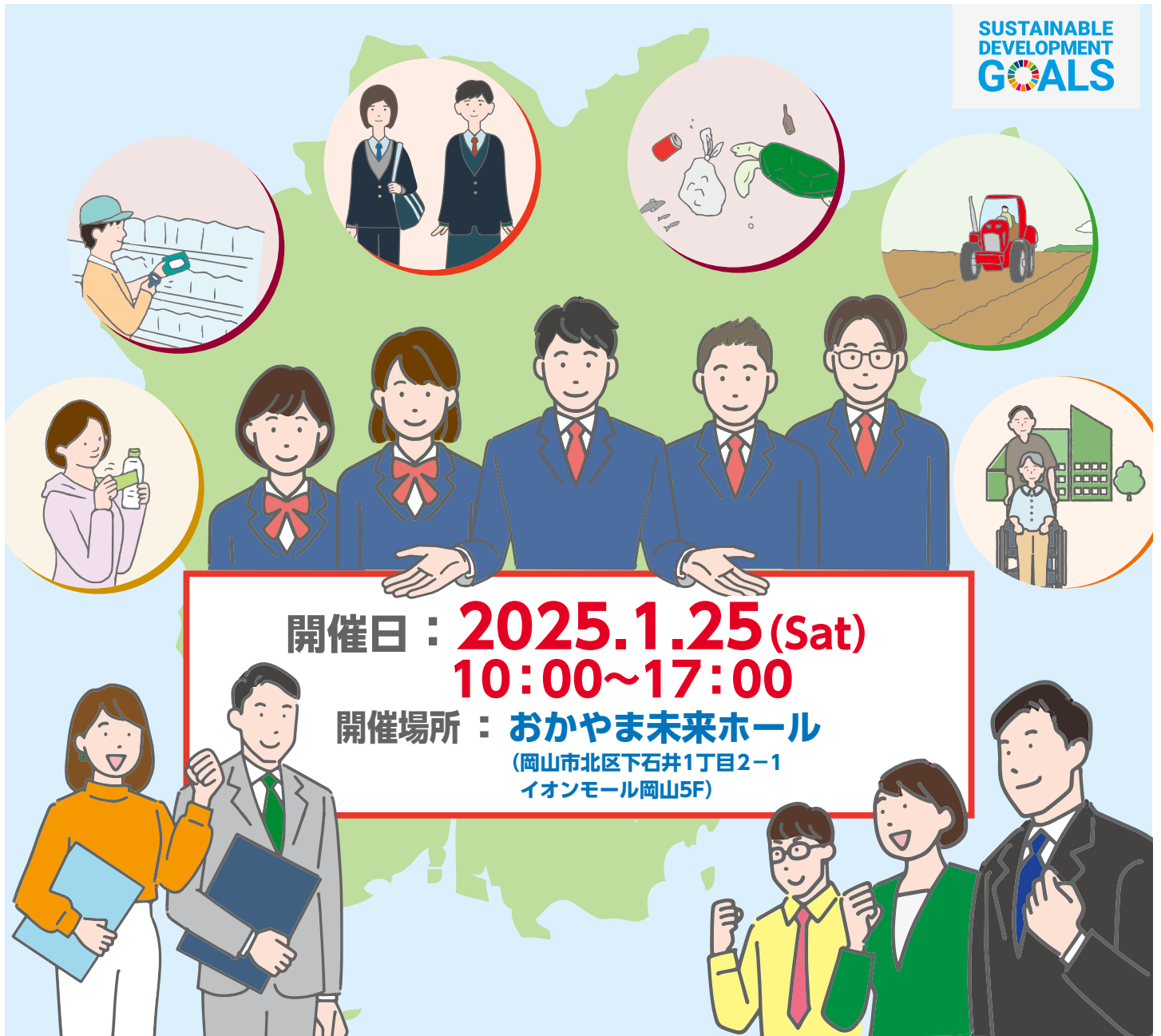


第5回 BeLive プレゼンテーション イベント

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



開催日： **2025.1.25 (Sat)**
10:00~17:00

開催場所： **おかやま未来ホール**
(岡山市北区下石井1丁目2-1
イオンモール岡山5F)

主催：BeLive 実行委員会

共催：一般社団法人岡山経済同友会

後援：

中国財務局 岡山財務事務所、中国四国地方環境事務所、岡山県、岡山県教育委員会、岡山県経済団体連絡協議会、一般社団法人 岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業家同友会、国立大学法人岡山大学、大学コンソーシアム岡山、株式会社山陽新聞社、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送 (敬称略)

WEB サイト



Facebook



Instagram



第5回BeLiveについて

「BeLive」は、^{ピーリフ}高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせた「SDGs」の取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

私ども BeLive 実行委員会は、地域の持続可能な社会の実現を目指し、県内の高校生による「SDGs」への取組を応援します。行政や企業関係者等の前で発表する機会を提供することを通じて、高校生と行政、企業の連携を深め、地域の「SDGs」活動をより活性化させ、その取組を通じて地元への愛着や関心を高め、企業情報を知ることによって県内就職を考える一助になると同時に、高校生の自由で柔軟な発想に触れることで企業にとっても新たな視点を獲得する機会となることを期待します。

今年度の「第5回 BeLive」では、“高校生×企業”をテーマとして掲げ、複数回のイベントの開催を通じて、高校生と企業が関わりあう機会を創出してまいりました。その取組の集大成として、高校生による SDGs の取組を発表・表彰する「第5回 BeLive」プレゼンテーションイベントを開催いたします。

実行委員紹介

実行委員長	梶谷 俊介	(一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事)
実行委員会事務局長	廣野 景治	(株式会社 i プランニング KOHWA 代表取締役社長)
実行委員	狩野 光伸	(国立大学法人岡山大学 副理事 SDGs・ダイバーシティ&インクルージョン担当)
	藤木 茂彦	(一般社団法人岡山経済同友会 特命理事)
	服部 俊也	(一般社団法人岡山経済同友会 SDGs推進委員会 委員長)
	室 貴由輝	(岡山県教育庁 学校教育推進監)
	岡山 一郎	(株式会社山陽新聞社 論説委員会 客員論説委員)
	天野 久美	(株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ サステナビリティ推進部 次長)
	池上 夏穂	(株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ サステナビリティ推進部)
	未 来	(株式会社オーリス)
	川崎 好美	(岡山県総合教育センター 指導主事)
	甲斐 明日香	(服部興業株式会社 総務部 主任)
	金谷 彩	(岡山トヨタ自動車株式会社 営業統括室 教育・店舗企画グループ)
	坂越 生章	(株式会社 i プランニング KOHWA 活性化推進室 室長)

審査員紹介

審査員長	藤木 茂彦 氏	(一般社団法人岡山経済同友会 特命理事/株式会社丸五 会長)
審査員	中村 正芳 氏	(岡山県教育委員会 教育長)
	三村 由香里 氏	(国立大学法人岡山大学 理事 (企画・評価・総務担当))
	宮本 由佳 氏	(岡山県産業労働部 産業労働部長)
	橋本 千明 氏	(独立行政法人国際協力機構 JICA中国センター 岡山県JICAデスク)
	坂ノ上 博史 氏	(一般社団法人高梁川流域学校 代表理事)
	森年 雅子 氏	(NPO法人 manabo-de 理事長)
	柏原 拓史 氏	(岡山県環境保全事業団環境創造部 サステナビリティ推進課長)
	阿部 典子 氏	(NPO法人 みんなの集落研究所 首席研究員)

審査基準

「理念」「持続性」「主体性」「参画力」「統合性」「発信力」「アイデア」の7つの項目を5段階で評価します。尚、同点のチームがある場合は、審査員の総合的な意見を基に決定いたします。

理 念	誰一人取り残さない、の理念で取り組んでいるか
持 続 性	岡山県の発展のために継続して、実施または実用が可能なものか
主 体 性	生徒たちが主体となり行動的に取り組んでいるか
参 画 力	企業との協働やステークホルダーを巻き込んでいるか
統 合 性	経済・社会・環境における課題解決に取り組んでいるか
発 信 力	チームの取組を外部に発信しているか
アイデア	創造性、革新性など、ワクワク感や夢のある取り組みになっているか

参加校紹介



ソコの環～ヒトの新たな営為の場～

岡山県立岡山工業高等学校

ソコの環

街全体を俯瞰し、公園への一市民としての率直な願いに加え建設技術者の卵としての建築的提案の手法を研究した。資金と建築物の機能やデザインの両立を図るために、ただ思い思いに描くのではなく、様々な企業や行政の方と協同学習を進める必要性を一年間の活動を通じて痛感した。計画は数か年に及ぶ大規模な取り組みであるため、下級生への引継ぎに向けたソフト面の整備に苦労した。

誰もが行きたくなる学校と僕たち

岡山県立岡山御津高等学校

校則検討委員会

私たちは「誰もが行きたくなる学校」を目指し、「自分で考え、選び、決める」を大切にしています。現在は、生徒主体で服装規定について取り組んでいます。試行やアンケート、多様な方々との交流などを通して意見を集め、議論していますが、最も重要なのは、私たち生徒の気持ちだと思っています。同じ御津高生でも好みや考えの違いがあり、苦労していますが、新年度の仲間を迎えるため、よりよいフリースのルールを検討中です。



高校生がつなぐ「共助」！対話から始まる 地域の防災力向上プロジェクト

岡山県立玉島商業高等学校

岡山県立玉島商業高等学校 探究チーム（タマタン）

私たちは2018年西日本豪雨を経験しながらも、防災力の向上が十分とは言えません。南海トラフ地震対策として、高校生が主導し地域住民と連携した避難訓練を実施しました。訓練では津波発生時の避難ルートや声掛けを検討し、津波想定アプリで臨場感を高めました。振り返りのグループワークで各ルートの利点と課題を共有し、防災力向上に向けた具体的な取り組みを議論しました。プロジェクトを通じ共助の重要性を再認識できました。



海ごみ削減をめざして

岡山県立玉野光南高等学校

S活メンバーズ海ごみチーム

はじめまして！玉野光南高校のS活メンバーズです。私たちは海ごみ削減及び防止というテーマで活動しています。身近な児島湖や瀬戸内海のごみを少しでも減らし、ごみが今以上に増加しないように清掃活動に参加したり、海ごみ削減中高生会議に参加し他校の生徒と意見交換をし、実際に清掃イベントの企画運営を一緒に行いました。今後も清掃活動などの取り組みを行い、海ごみ削減に貢献していけるよう頑張っていきます。



誰も置き去りにしない・・・を実現するためフードロス食材で作られた缶詰コノヒトカンに自分たちの想いを込め、大きな夢のバトンを渡した物語

倉敷市立玉島高等学校

コノヒトカン物語

世界一温かい缶詰「コノヒトカン」を誰に渡し、どんなふうに喜んでもらい、何をを目指すのかをみんなで考え、企画したことを行動に移すことや地域の方々や石川県の方々との連携協働、主体的に取り組むことを大切にしてきました。私達の活動が「誰も置き去りにしない・・・」に少し貢献できたと思っています。行動すれば未来を変えることができると思えるようになりました。



岡山の白桃を広めるための方法

岡山県立烏城高等学校

岡山の桃の問題について考える会

私が一番大切にしたことは岡山の桃について正しく理解することです。そのために図書館で資料を集めて読んだり、実際、岡山の桃農家に話を聞きに行き、桃農家が抱えている課題について教えてもらいました。そして、その課題を解決するために資料をまとめて、解決策を考えるのが難しく、その解決策を実行する自分の中で一番苦労したことです。

「食」がつなぐ人の輪～フードロスから働く価値を生み出す商品～

岡山県立津山商業高等学校

チームつしょうがみそ！

この活動を通して、B型事業所の大切さや現状置かれている状況を把握することができた。また、3年間学習してきた学びを実際にこの活動に生かすことができ、実践の場を得ることができた。さんフェア栃木で全国第2位を受賞することができて自分たちの行ってきたことを賞という形で評価されることができた。重ねて、常設販売で得ることができた利益を社会福祉協議会へ寄付をすることでこの活動を通して、地域に貢献できた。



スライド作成について

岡山県立倉敷青陵高等学校

青陵情報ゼミ4班

高校生に向けたスライド作成マニュアルを作成する際に大切にすることは、シンプルで分かりやすい説明と、実践的な例の提示です。専門用語はできるだけ避け、具体的なデザイン例やレイアウトの工夫、スライド作成における大切なポイントなどを紹介することで、誰でも実践しやすい内容にしました。また、視覚的に理解しやすい図やイラストを使用し楽しく学べる工夫も取り入れました。

地域活性化大作戦～In 奉還町西側～

岡山県立岡山工業高等学校

OARGIR（オーギー）

班員全員でフィールドワークやアンケートなどを行いながら地域の現状や地域にとって何が必要なのかを調査し、その地域が現在よりもっといい場所となるよう意識した。また、6人中5人が進学、1人が就職希望だったこともあり、中々時間が合わないときが多く、活動を進められる人と進められない人とで入れ替わりが激しかった時期もあったのでその際はLINEなどのSNSを活用したり授業内で話し合いを行うなどをして乗り越えた。



矢掛を取る

岡山県立矢掛高等学校

YKG地域連携隊 2代目

小中高校生で活動しているのでそれぞれの意見を尊重し、企画を考えていくことが大変だった。役割分担を決めることや、できるだけ大人に頼らずに進めていくことを大切に活動をした。また自分たちの社会課題に対しての捉え方が変わった。社会課題解決のために私たちができることを見つけていくのはすごく大切なことだと改めて感じる事が出来た。



玉島高校のSDGsの取り組み

岡山県立玉島高等学校

玉島SDGs高校生Ambassador

・社会や地域のために高校生の今でも何かできないかと考え、地域の方と協力し、身近なことでも良いので行動すること・生徒一人ひとりが自分で考え行動することで、主体性や人間性を高めること・周りの人々にも気づく心を持ってもらうこと・1回の活動で終わるのではなく、継続して行える活動にすること。

給食残量を減らすための取り組み～学校給食から始める食品ロスの削減～

岡山県立倉敷青陵高等学校

社会問題ゼミ

給食の残量調査を自分たちでできないため中学校に負担がかからないように調査方法を考えることや、限られた時間で中学校と連携して調査をすることが大変でした。給食による食品ロスが問題化され、給食をなくす学校も増えていますが、給食はみんなが平等に栄養を摂取でき、食習慣を身につけられる必要なものであるため、給食をなくすのではなく給食の残量を減らすことが大切であると考えました。



あつい夏、さむい冬。断熱改修を通して教室の未来を変える

岡山県立林野高等学校

林野高校断熱改修プロジェクトチーム

私たちは美作の地からできるエネルギー問題解決に向けて取り組んだ。住宅の省エネ基準適合義務化の流れを受け、多くの建築物がカーボンニュートラルを目指している。一方で私たちが日々生活する学校施設は手つかずの状態エネルギーを無駄に消費している。研究を進めていくなかで、公立高校の断熱改修は公共施設であるがゆえの困難さがあることも理解した。本研究は実際に断熱改修を施工するまでの3年間の軌跡である。

フサヒゲルリカミキリ (Agapanthia japonica) の保護活動に寄与できること

岡山県立勝山高等学校蒜山校地

自然班

日本の自然環境は、放置すれば森林になる。そのような自然の流れに逆らうよう人間が手を加え、長い間保全されてきた草原が蒜山にはある。私たちは、今やそこにしか棲まないフサヒゲルリカミキリの存在を知り、カミキリとその生息地を保護していくことが、蒜山の草原環境とそこに棲む生物の多様性を維持することにつながると感じている。保護活動に携わりながら、活動を継承してくれる次世代への啓発、育成も視野に入れている。



東工アルテミスプロジェクト

～完全循環環境構築への挑戦～



東工アルテミスプロジェクト

岡山県立東岡山工業高等学校

電子機械科

大切にしたこと・社会に貢献できる活動として、『完全循環』を実現する環境を目指す。・過酷な環境下での食物連鎖の再現は、地球の諸問題の多くを解決する。苦労したこと・前例の無い取り組み。試行錯誤の連続で、課題が多岐に渡る。・予算が少なく、挑戦したいことの多くは金銭面が壁となっている。



第5回 BeLive



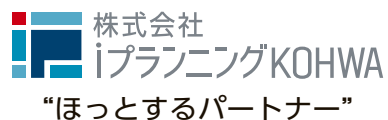
一般社団法人 岡山経済同友会



協賛企業紹介 (敬称略・五十音順)

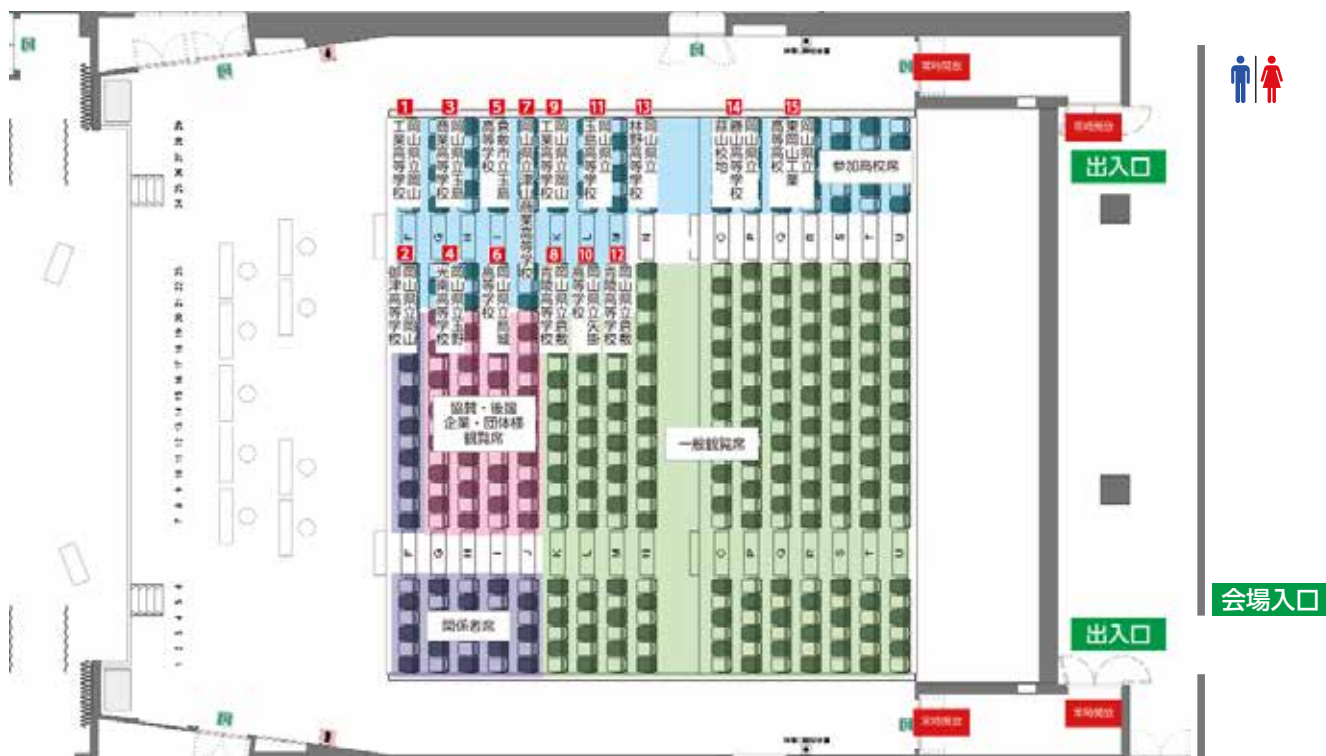


豊かな食シーンを、岡山から世界へ。



ご協賛いただきありがとうございます。

会場図



タイムスケジュール

10:00～10:30 受付

10:30～ 開会

審査員紹介／協賛・後援紹介

開会挨拶 BeLive実行委員長 梶谷 俊介 氏

11:00～ プレゼンテーション

1. 岡山県立岡山工業高等学校／ソコの環
2. 岡山県立岡山御津高等学校／校則検討委員会
3. 岡山県立玉島商業高等学校／岡山県立玉島商業高等学校探究チーム (タマタン)
4. 岡山県立玉野光南高等学校／S活メンバーズ海ごみチーム
5. 倉敷市立玉島高等学校／コノヒトカン物語
6. 岡山県立烏城高等学校／岡山の桃の問題について考える会
7. 岡山県立津山商業高等学校／チームつしょうがみそ！
8. 岡山県立倉敷青陵高等学校／青陵情報ゼミ4班

12:30～13:25 食事休憩 (55分)

13:30～ プレゼンテーション

9. 岡山県立岡山工業高等学校／OARGIR (オーギー)

10. 岡山県立矢掛高等学校／YKG地域連携隊 2 代目

11. 岡山県立玉島高等学校／玉島SDGs高校生Ambassador

12. 岡山県立倉敷青陵高等学校／社会問題ゼミ

13. 岡山県立林野高等学校／林野高校断熱改修プロジェクトチーム

14. 岡山県立勝山高等学校蒜山校地／自然班

15. 岡山県立東岡山工業高等学校／電子機械科

14:50～ 休憩・アンケート記入 (15分)

15:10～ 応援メッセージ

文部科学省 初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 氏

15:35～ 表彰・審査結果発表

審査結果発表

審査員長メッセージ 藤木 茂彦 氏

15:51～15:56 メッセージ

岡山県教育委員会 教育長 中村 様

15:57～16:00 閉会挨拶

BeLive実行委員 服部 俊也 氏

16:00～16:50 フリー (記念撮影／交流)

参加者アンケート・投票

本日はご参加ありがとうございました。今後のイベント運営の参考にさせていただきたいと思いますので、お手数ではございますが、該当のQRコードよりアンケートにご協力ください。

また、ご観覧いただきましたチームの中で、一番素晴らしいと思ったチームにご投票ください。

参加者アンケート



◀高校生・引率教員様
はこちらから

発表参加チーム以外の
皆様はこちらから▶



オーディエンス投票

